

短期留学生日本語プログラム 2010年度

衣 川 隆 生

1. 2010年度の概要

短期留学生を対象とした日本語コースは2005年度以降全学向け日本語プログラムに統合されている。開講クラスと内容に関しては、全学向けプログラムの報告を参照いただきたい。

2. 単位認定科目の追加

短期留学生は日本語プログラムを受講することで単位取得が可能である。2010年度においては、従来から単位を認定していた1日2コマの「集中日本語コース」4レベルと、1日1コマの「標準日本語コース」7レベル、及び「入門講義」4科目に加え、「ビジネス日本語」(春学期より2科目, 秋学期より3科目), 「漢字コース」(秋学期より2科目)においても単位認定を開始した。これらの認定科目を追加したことにより、これまで単位認定科目が少なかった中上級以上の短期留

学生に対しても数多くの認定科目が提供できるようになった。参考のため、表1に標準日本語コースのクラス名、表2に集中日本語コースのクラス名を示す。

このうち、SJ101, SJ102の初級コース(1日1コマ・週5コマ・全70コマ), IJ111, IJ112の初級～初中級コース(1日2コマ・週10コマ・全140コマ)の受講者は、総合的な日本語能力を身につけるために、週5日出席すること義務づけている。SJ101, SJ102を修了した学生には5単位を、IJ111, IJ112を修了した学生には10単位を認定している。

SJ200以上のレベル、及びIJ211以上のレベルの学生は、レベルやニーズに合わせて文法・談話、読解、聴解、会話、作文のクラスを技能別に登録することが可能である。学生は1科目から最大5科目まで履修登録することができる。また、技能習熟度に合わせて配置されたレベルよりも下のレベルのクラスを登録することも可能である。ただし、2レベルで同じ名称の科目を登録することは認めていない。SJにおいては1科目

表1 標準日本語コース (SJ)

Japanese Level	Class Name				
初級 I	SJ101				
初級 II	SJ102				
初中級	SJ200 (C1&C2)	SJ200 (R)	SJ200 (L)	SJ200 (G)	
中級 I	SJ201 (C1&C2)	S201 (R)	SJ201 (L)	SJ201 (G)	
中級 II	SJ202 (C1&C2)	SJ202 (R)	SJ202 (L)	SJ202 (G)	
中上級	SJ300 (C1)	SJ300 (C2)	SJ300 (R)	SJ300 (L)	SJ300 (G)
上級	SJ301 (C)	SJ301 (W1)	SJ301 (W2)	SJ301 (R)	SJ301 (L)

表2 集中日本語コース (IJ)

Japanese Level	Class Name	
初級 I	IJ111	IJ112
初級 II		
初中級		

Japanese Level	Class Name						
Skill	Conversation 1	Conversation 2	Reading	Listening	Grammar & Discourse		
初中級		IJ211	IJ211	IJ211	IJ211		
中級 I	IJ212	(C1&2)	(R)	(L)	(G)	IJ212	
中級 II	(C1)	(C2)	(R)	(L)	(G)	(G)	

1 単位を、IJ コースにおいては 1 科目 2 単位を認定している。

入門講義は2010年度には春学期、秋学期それぞれ 4 科目開講し、1 科目 2 単位を認定している。

ビジネス日本語は春学期に「ビジネス日本語 1」「ビジネス日本語 2」を開講し、秋学期には「ビジネス日本語 2」修了者を対象として「ビジネス日本語 3」を開講した。各科目 1 単位を認定している。

また、従来アラカルト授業として開講していた「漢字コース」も秋学期から「漢字1000」「漢字2000」を開講し、それぞれ 1 単位を認定している。

3. 成績評価

表3は短期留学生日本語プログラムの評価基準である。

表3 評価項目と配点

Test またはレポート	60%
Quiz	10%
Homework	10%
Attendance	10%
Class Performance	10%
Total	100%

表4は成績認定基準である。Audit 制度は秋学期より廃止している。

表4 成績認定基準

成績	成績評価 (100点満点)
A*	100-90
A	89-80
B	79-70
C	69-60
F	59以下

*Audit 80% 以上の出席で受講証明

ただし、初中級レベル以上のクラスについては技能別クラスで単位を認定するため、表3を基本として技能クラスごとに適切な評価項目を示すこととした。また、NUPACE Japanese Language Program Grading Policy を策定し、教務オリエンテーションの際に、その内容の徹底を図ることとした。

4. 登録・成績状況

表5, 6は春学期と秋学期の標準日本語コース、表7, 8は集中日本語コースの登録者数及び成績を示し

表5 春学期標準日本語コースの登録・成績状況

春学期	A*	A	B	C	F	Audit	登録者合計
SJ101	0	0	0	0	0	0	0
SJ102	0	0	0	1	0	0	1
SJ200会話 1 & 2	1	0	2	0	2	0	5
SJ200読解	0	1	1	1	2	0	5
SJ200聴解	0	3	0	1	1	0	5
SJ200文法・談話	2	0	1	0	2	0	5
SJ201会話 1 & 2	0	1	1	0	0	0	2
SJ201読解	1	0	0	0	1	0	2
SJ201聴解	1	0	0	1	0	0	2
SJ201文法・談話	0	0	1	1	0	0	2
SJ202会話 1 & 2	1	3	1	0	0	1	5
SJ202読解	3	2	2	0	0	1	7
SJ202聴解	5	2	0	0	0	1	7
SJ202文法・談話	1	4	2	0	0	1	7
SJ300会話1	3	4	0	0	0	0	7
SJ300会話2	2	2	4	0	0	0	8
SJ300読解	2	2	4	0	0	0	8
SJ300聴解	4	3	0	1	0	0	8
SJ300文法・談話	5	2	0	1	0	0	8
SJ301会話	4	3	1	0	0	0	8
SJ301読解	4	3	0	0	0	0	7
SJ301聴解	4	3	0	0	0	0	7
SJ301作文 I	3	4	0	0	2	0	9
SJ301作文 II	0	4	0	0	0	0	4
ビジネス日本語 1	7	3	0	0	0	4	10
ビジネス日本語 2	7	6	2	0	1	1	16
	60	55	22	7	11	9	155

表6 秋学期標準日本語コースの登録・成績状況

秋学期	A*	A	B	C	F	Audit	登録者合計
SJ101	0	3	3	1	0	0	7
SJ102	0	0	0	0	1	0	1
SJ200会話 1 & 2	1	1	0	0	1	0	3
SJ200読解	1	1	1	0	1	0	4
SJ200聴解	1	0	2	0	0	0	3
SJ200文法・談話	1	0	2	0	0	0	3
SJ201会話 1 & 2	0	0	0	0	0	0	0
SJ201読解	0	0	0	0	0	0	0
SJ201聴解	0	0	0	0	0	0	0
SJ201文法・談話	1	0	0	0	0	0	1
SJ202会話 1 & 2	1	3	0	0	0	0	4
SJ202読解	2	2	1	0	0	0	5
SJ202聴解	2	2	1	0	0	0	5
SJ202文法・談話	0	5	0	0	0	0	5
SJ300会話 1	1	0	0	0	1	0	2
SJ300会話 2	2	3	1	0	0	0	6
SJ300読解	4	2	0	0	0	0	6
SJ300聴解	1	0	0	0	0	0	1
SJ300文法・談話	2	2	1	0	0	0	5
SJ301会話	4	0	0	0	0	0	4
SJ301読解	4	0	0	0	0	0	4
SJ301聴解	2	1	0	0	0	0	3
SJ301作文 I	3	2	0	0	0	0	5
SJ301作文 II	2	0	1	0	1	0	4
漢字1000	6	2	1	0	1	0	10
漢字2000	2	1	0	0	0	0	3
ビジネス日本語 1	5	1	0	0	0	0	6
ビジネス日本語 2	3	6	0	0	0	0	9
ビジネス日本語 3	1	2	1	0	0	0	4
	52	39	15	1	6	0	113

表7 春学期集中日本語コースの登録・成績状況

春学期	A*	A	B	C	F	Audit	登録者合計
IJ111	1	3	1	0	0	2	5
IJ112	0	0	0	0	1	1	1
IJ211会話 1 & 2	2	0	1	0	0	0	3
IJ211読解	2	0	0	1	0	0	3
IJ211聴解	1	1	0	1	0	0	3
IJ211文法・談話	2	0	0	1	0	0	3
IJ212会話 1	2	3	2	1	0	0	8
IJ212会話 2	0	5	0	0	0	0	5
IJ212読解	1	2	3	2	0	0	8
IJ212聴解	0	2	2	4	0	0	8
IJ212文法・談話	1	3	4	0	0	0	8
	12	19	13	10	1	3	55

表8 秋学期集中日本語コースの登録・成績状況

秋学期	A*	A	B	C	F	Audit	登録者合計
IJ111	3	8	0	0	0	0	11
IJ112	1	7	1	0	0	0	9
IJ211会話 1 & 2	1	3	1	0	0	0	5
IJ211読解	1	1	2	0	0	0	4
IJ211聴解	2	2	1	0	0	0	5
IJ211文法・談話	1	3	1	0	0	0	5
IJ212会話 1	1	8	3	0	0	0	12
IJ212会話 2	1	11	0	0	0	0	12
IJ212読解	3	5	2	1	0	0	11
IJ212聴解	3	2	5	0	0	0	10
IJ212文法・談話	2	6	4	0	0	0	12
	19	56	20	1	0	0	96

たものである。登録者数は春学期には短期留学生の82%に相当する77名中63名が、秋学期においては96%に相当する73名中70名が登録をしている。春学期に比べて秋学期の登録者数の割合が非常に高い要因として、中上級を対象とした単位認定科目の増加があると考えられる。

次に成績状況を報告する。春学期の標準日本語コースでは、延べ受講者数155名中、A*またはAが115名(74%)、Bが22名(14%)、Cが7名(5%)であった。集中日本語コースでは、延べ受講者数55名中、A*またはAが31名(56%)、Bが13名(24%)、Cが10名(18%)であり、若干の低下傾向が見られる。秋学期の標準日本語コースでは、延べ受講者数113名中、A*またはAが91名(80%)、Bが15名(13%)、Cが1名(1%未満)であった。集中日本語コースでは、延べ受講者数96名中、A*またはAが75名(78%)、Bが20名(21%)、Cが1名(1%)であった。

5. 今後の課題

春学期の延べ受講者数は2009年度が167名だったのに対して2010年度は210名であり、秋学期の延べ受講者数は2009年度が183名であったのに対して、2010年度は209名と増加している。2009年度の短期留学整数は春学期には65名、秋学期には76名と2010年度と比べてほぼ横ばいで推移しているにも関わらず、このように受講者数が増加している要因は単に単位認定科目が追加されただけではなく、短期留学生の留学の大きな目的として日本語が意識されていることもあると考える。2011年度から始まるグローバル30により、今後さらに留学生数が増加することも予想される。それに対応するための内容的改善、及び体制的な整備を継続的に行う必要がある。